

令和2年度（2020年度）第2回社会教育委員の会議 会議録

- 1 日 時 令和3年（2021年）2月16日（火）14:00～15:30
- 2 場 所 函館市役所本庁舎 8階第1会議室
- 3 内 容
(1) 報告
令和3年度（2021年度）予算の概要
(2) 研究調査
テーマ 「縄文遺跡群の世界文化遺産登録による効果促進施策のあり方」
- 4 出席委員 12名（池田委員，外崎委員，長谷川委員，古俣委員，谷川委員，瀬戸委員，市田委員，佐々木（香）委員，小野田委員，佐々木（学）委員，横手委員，水野委員）
- 5 欠席委員 3名（横山委員，吉川委員，鄭委員）
- 6 事務局出席者 4名（神生涯学習文化課長，長谷山文化財課長，円山生涯学習文化課生涯学習文化課主査，葛西生涯学習文化課主事）

7 発言要旨

委員長	それでは定刻になりましたので，只今から令和2年度（2020年度）第2回函館市社会教育委員の会議を開会いたします。 本日は何かとご多用のところ，ご参集いただきまして誠にありがとうございます。 委員長の池田です。よろしくお願いいたします。 本日の会議は午後3時30分頃の終了を予定しております。 それでは委員の出席状況について，事務局から報告願います。
生涯学習文化課主査	委員の出席状況につきましては，委員15名中12名の委員の出席をいただいておりますこと，函館市社会教育委員の会議規則第5条第1項の規定に定める過半数に達しておりますことから，会議が成立しておりますことをご報告いたします。
委員長	つづきまして本日の資料の確認をさせていただきます。 事務局，お願いします。

生涯学習文化課主査	<p>本日の資料を確認させていただきます。</p> <p>次第および資料（縄文遺跡群の世界文化遺産登録による効果促進施策のあり方）、委員名簿の3点は事前に送付させていただいております。</p> <p>次に本日、机上配付した資料についてですが、資料・令和3年度（2021年度）生涯学習部関連の主な予算・座席表・縄文に関するチラシ・リーフレットとなっております。</p> <p>本日、事前送付資料をお持ちでない方、机上配付資料で不足している資料がある方はお知らせください。</p>
委員長	<p>はじめに、前回欠席されておりました新委員の方をご紹介します。</p> <p>函館市町会連合会東部地区協議会の横手 義孝 委員 です。</p> <p>次に、前回の会議以降、PTA連合会の推薦委員に変更がありましたのでご紹介いたします。</p> <p>函館市PTA連合会 副会長の小野田 府 委員 です。</p>
委員長	<p>それでは、会議を進めます。</p> <p>報告 令和3年度（2021年度）予算の概要について事務局より説明願います。</p>
生涯学習文化課長	<p>令和3年度（2021年度）予算の概要について、私および文化財課長の順にご説明いたします。</p> <p>資料 令和3年度（2021年度）生涯学習部関連の主な予算をご覧ください。</p> <p>（スポーツ振興課分を説明）</p>
文化財課長	<p>（文化財課分を説明）</p>
委員長	<p>ここまでの説明に関して何かございますか。</p> <p>（なし）</p>
委員長	<p>それでは次の議題について事務局お願いします。</p>
生涯学習文化課長	<p>本市の史跡大船遺跡、史跡垣ノ島遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関しては、平成30年度の社会教育委員の会議で説明したところですが、その後、令和元年度にユネスコ世界文化遺産の国内推薦が決定し、今後、世界遺産の登録に向けて全市的に盛り上げていくことが重要ですので、この機会に社会教育委員のみなさまや所属する団体等でどのような取組みが可能か、または社会教育委員のみなさまの縄文遺跡群との関わりなどについて、みなさまのお話をお聞きしたいと考え、このテーマを取り上げさせていただきました。</p>

生涯学習文化課長	<p>それでは生涯学習部文化財課の長谷山課長から「縄文遺跡群の世界文化遺産登録による効果促進施策のあり方」について説明させていただきます。</p>
委員長	<p>文化財課長からの説明の後、みなさまで意見交換をお願いしたいとのことですので、よろしくお願いいたします。 それでは長谷山課長、よろしくお願いいたします。</p>
文化財課長	<p>(説明)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p>
委員長	<p>それでは、社会教育委員のみなさまや所属する団体等で、どのような取組みができるか、もしくは社会教育委員のみなさまの縄文遺跡群との関わり（ご自身の取組み）などについて、みなさまでお話いただければと思います。みなさま、いかがでしょうか。</p> <p>はじめに私からお話させていただきます。 私は函館市青年センターというところでセンター長をしています。 青年センターには「図書貸出コーナー」というものがありまして、蔵書としては1,500冊ほどあります。基本的には流行の小説を中心に毎月新刊を3冊ほど購入して行って蔵書を増やしていくということなのですが、先日縄文文化・縄文時代に関わる書籍を3冊購入させていただきました（まだ図書貸出コーナーには出していません）。</p> <p>この3冊の本は、基本的に写真だとか、イラストなどを中心に作られており、誰でも気軽に読める本だと思います。私も読んでみて、非常に興味が出ました。土偶と言っても色々な種類があり、形も様々です。なぜ、このポーズをとっているのかも解説されているほか、土偶それぞれにつけられているユニークな名前についても紹介されており、非常に面白い本だと思います。いずれ図書貸出コーナーに出して、市民の方が閲覧や貸出をしてもらえそうな環境を整えていきたいと思っています。</p> <p>また、9月に予定していた（新型コロナウイルス感染症の影響で中止）展覧会で展示予定だったある作家さんの作品（土偶の漫画）を青年センターロビー等に展示するなど、縄文に関する小規模な展覧会を行おうと密かに考えているところです。</p> <p>それと同時に図書貸出コーナーにも縄文関連の書籍を出し、施設全体として、少しでも市民のみなさまに縄文文化のことを知っていただけるような取組みをしていきたいと考えているところです。</p> <p>以上です。</p>

委員長	<p>具体的な取組み以外（ご自身と関わりがあるということ）でも結構ですので、何かご意見を伺えればと思います。</p> <p>北海道新聞社函館支社の佐々木委員は、報道という立場で縄文についてもこれまで色々と報道されてきたと思うのですが、報道関係の立場として、縄文についてたくさんの方に知ってもらおうということについて、どのようなお考えをお持ちですか。</p>
佐々木（学）委員	<p>私は、幕末だけでなく縄文の歴史も函館の歴史としてとても大事だと思っており、縄文遺跡の世界遺産の登録に関することは、これまでも記事にしてきたところです。</p> <p>2月6日（土）の北海道新聞夕刊に「縄文グッズで登録後押し」という記事を掲載し、函館市が南茅部地区を発着点に走らせている地域福祉バスの車体に縄文のラッピングを施したことや、「縄文 DOHNAN プロジェクト」の人たちが制作している関連グッズ・その他の活動などを紹介しました。</p> <p>今年に入ってから全道版において、縄文遺跡へのアクセスの不便さや駐車場不足に関する課題についても報道しました。</p> <p>世界文化遺産に登録された際には、外国人観光客も多くなると思いますので、受入れ体制も大事な話になるかと思えます。</p> <p>登録に向けた気運を高めると共に、しっかりとした受入体制を作るためにいろいろな問題点を洗い出し、報道していきたいと思っております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>縄文を盛り上げるための諸活動に関する報道や、観光客等の受入体制をしっかりと作るための課題に目を向けた報道などに尽力されており、とても素晴らしいと思えました。</p>
委員長	<p>他にいらっしゃいませんか。</p>
委員長	<p>函館市文化団体協議会の瀬戸委員にお尋ねします。</p> <p>函館市文化団体協議会に登録している団体のみなさまは、縄文文化や歴史について、どのようなお考えをお持ちですか。</p>
瀬戸委員	<p>函館市文化団体協議会の中には、函館ミュージカル劇場という団体があるのですが、今から7年くらい前に縄文時代からタイムトラベルしてきた少女達のミュージカルを創りました。</p> <p>縄文時代の少女達が浜辺で昆布を干していたら津波がやってきて、津波後の日本の浜辺に辿りつき、そこで被災者の皆さんと強く生きていくという物語で2時間の大作です。</p>

瀬戸委員	<p>劇中に流れてくる曲もとても美しいです。</p> <p>土偶も出演します。土偶のレプリカも立派なものを作っていただいて、土偶に扮した人たちが踊ったりして中々幻想的な光景だったと思います。</p> <p>一度きりの公演だったので、一度も見たことのない方もいると思います。公演を録画したビデオがありますので、たくさんの方に見ていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>縄文時代の風景描写に終始するだけでなく、現在にも通じる津波による被災についても描かれており、皆が力強く生きていくという物語になっているところも素晴らしいと思いました。</p> <p>是非、拝見したいと思います。</p>
委員長	<p>あと他にいらっしゃいませんか。</p> <p>小野田委員はいかがですか。</p>
小野田委員	<p>私の子どもが昨年、修学旅行で縄文文化交流センターに行きまして、子どもから施設の話は聞いてはいるのですが、私自身はまだ行ったことがありません。暖かくなった頃に、ぜひ行って見てみたいと思っています。ただ、私は車を運転しないため、縄文文化交流センターについて、もう少し交通アクセスが便利だと行きやすいのに、という思いがあります。例えば、私は昨年の夏に白老のウポポイに行ったのですが、そこはJRの駅のすぐ近くであり、場所もわかりやすくアクセスが便利だと感じました。縄文文化センターにつきましても、アクセスを便利にしていきたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>お子様が修学旅行で縄文文化交流センターに行かれたというお話がありました。私の子どもも昨年、修学旅行で縄文文化交流センターに行っております。</p> <p>私自身も以前、縄文文化交流センターに行ったことがございます。</p> <p>そんなに知識がない中で行ったのですが、それでも中空土偶を見た時にはとても感動しました。理由というのはハッキリとは分からないのですが、展示されたものを見た時に、どれだけ歴史を支えてきたかという事に感動しました。おそらく、展示の仕方（ライトの当て方なども含め）が素晴らしかったからだと思います。</p> <p>行って良かったと思えるような感動がありましたので、是非行ってみたいと思います。</p>

委員長	<p>アクセスの件につきましては、次第の4 研究調査において、長谷山課長から今後の改善案等についてご説明をいただいたところです。</p>
文化財課長	<p>はい。</p> <p>今、バスはバイパスではなく国道278号線を走っています。</p> <p>国道278号線からですと、遺跡に来るのに中々分かりにくいところがあります。</p> <p>具体的に申しますと、遺跡に行くためにはバス停から降りて300mほど歩く必要があります。</p> <p>しかもバス停の名称が遺跡とは関係ない名称であり、その点についても分かりづらい原因となっています。</p> <p>こういった状態を改善するために、看板の設置、バス停の位置や名称の変更等について検討しているところでございます。</p> <p>また、路線バス以外にも、バス会社さんが夏頃にはツアーバスも考えておられるというお話もお聞きしており、私どもの方からも例えば「遺跡を巡ろう」というようなツアーを企画いただけるよう、協力依頼をして行きたいと考えております。</p> <p>また、南茅部にしばらく無かったタクシー会社がまたできたことですので、定額タクシーのような形でお願いできないかなどの協力をお願いしていきたいと思っております。</p> <p>様々な課題に対して検討をしながら、交通アクセスの改善に向けた取組みをしているところでございます。</p> <p>以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは他にいらっしゃいませんか。</p>
委員長	<p>中学校校長会の古俣委員にお尋ねします。</p> <p>中学校の授業では縄文時代について学ぶと思いますが、中学校の授業と、昨今の縄文遺跡の世界遺産登録に向けた取組みと、接点と申しますか、何か、関わるようなものはあるのでしょうか。</p>
古俣委員	<p>社会の授業にも縄文の歴史は出てきます。</p> <p>私は教師としてのスタートが南茅部の中学校でしたので、遺跡の発掘も授業で行っていました。</p> <p>また、歴史の授業以外でも総合学習として地域のことを学習する機会があります。</p> <p>例えば、1年生は市内見学、2年生は宿泊研修で遺跡見学、3年生は修学旅行で道内見学をします。</p>

古俣委員	<p>この他にも、3年生になると、地域文化を学ぶと共に、地域の人を見て生き方を学習するという人間育成に関わる学習もします。</p> <p>例えば地域の課題解決について、コミュニティースクールの中で地域の人と話し合うということもしております。</p> <p>地域の過疎化が進んでいる地域などでは、地域をどうしたら活性化できるのかということを考えます。</p> <p>その中で、自分たちのまちにはこんな素晴らしい自然がある、こんな遺産がある、ということに気づいて自分たちのまちを知る中で、地域に対する郷土愛が育っていきます。</p> <p>過疎化という問題に対しては地域にある遺産を生かした職業を作るという解決策があります。それを地域の方と子どもたちが一緒に考える、ということもできると思います。</p> <p>まちに高校がない地域では、まちの子は高校生になると一旦はまちを離れますが、地域に職業ができれば、子供たちはまた、地域に戻ってくるができます。</p> <p>また、地域に戻ってきた子どもたちが、地域の観光に携わる仕事をして、さらにまちが発展していけばなお良いと考えております。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p>
谷川委員	<p>市立函館高校の谷川ですが、発言しても良いでしょうか。</p> <p>高校の代表として参っておりますので、高校生が縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取組みとしてできることについてお話をしたいと思います。</p> <p>1点目は、ボランティアです。</p> <p>2点目は、地域総合探求という授業の中で、地域課題およびその課題解決に向けた学習をすることです。</p> <p>また本校には「函館学」という授業があります。そこに講師の方に来ていただいて、課題に対して解決するという授業をしていただくのも良いと思います。</p> <p>例えば、縄文に関するニュースを集める、興味があることについてディスカッションする、あるいは、縄文文化交流センターに行き、そこで講義を受けながら実際に何かを体験するという講座を作っていたと単位に結びつきます。</p> <p>3点目は、高校生に今しかできない体験をさせることです。</p> <p>これから縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて形を作っていくところだと思いますが、その形をつくる過程の中に子供たちを参加させてはどうかと考えております。</p> <p>例えばプロジェクトに参加させていただき、その中で課題が出てきた場合には「こういう課題はどう解決すれば良いのか」ということを高校生自身が考えるということなのです。</p>

<p>谷川委員</p>	<p>もちろん、大きな課題は市や市教委の仕事になると思いますが、小さい課題（看板の設置や配置などをどうするかなど）については、高校生がアイデアを出しながら実際に自分たちでやってみる、ということができないのではないのでしょうか。</p> <p>この作る過程を楽しむ、経験するというのは、今の時期だからこそできることだと思います。</p> <p>私といたしましては、単にボランティアをするだけでなく、目的に向かって必要な何かを作っていくという過程に高校生が参加する、ということが大事だと思っています。</p> <p>実際にやってみたら苦しいことも経験すると思いますが、課題解決のために自分が奮闘した、自分がプロジェクト等に携わったという経験は、子どもたちの今後の人生に必ず役立つはずです。</p> <p>このほか、観光施設というのは、最初は利用が多いものの、その後しばらくすると利用率が低迷してくるのが普通です。</p> <p>その際に高校生に声をかけていただき、「今、利用が落ち込んでいるという問題があるがどうすれば良いか。」ということと一緒に考えさせていただくということもできると思います。</p> <p>たくさん、できることがあると思います。</p> <p>高校生に実際に地域の課題を解決する体験をさせることは、地域を担う後継者を育成することにも繋がります。</p> <p>もしよろしければ、市立函館高等学校は、市立の高校でもありますし、ご協力も含めて色々やらせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>別件ですが、このお話とも重なるのですが、今、私は人と人（市民や子どもなど）の距離感をいかに縮めるか、ということについて考えております。</p> <p>例えば NHK で函館市を舞台にしたラブライブ！サンシャインのアニメを放映していましたが、あのアニメは函館市と人との距離感を強力に縮めたと思います。アニメですとお金がかかりますが、あのアニメの様に、ご当地のものを入れていくとすごくインパクトが出るのではないかと思います。</p> <p>中空土偶についても、インパクトがもう少しあればと思っています。エンターテインメント性（例：イギリスのストーンヘンジでは近づくと棒がぐるぐる回る）などを盛り込むことで楽しさが倍増し、縄文文化と市民の間の距離感がもっと縮まっていくのではないかと考えております。</p> <p>以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。 たくさんのご意見、ありがとうございました。</p>

委員長	<p>私たち市民が、小さなことでもできることから取り組んで行くことが大切です。</p> <p>本日のご意見につきましては、持ち帰ってそれぞれの団体に検討していただきたいと思います。</p> <p>また、事務局と私たちの取組を情報共有していくことが必要と考えております。</p>
委員長	事務局から5「その他」として何かございますか。
生涯学習文化課長	<p>はい。私の方から成人祭の開催日について1点報告させていただきます。今年は残念ながら中止せざるを得ない状況となってしまいました成人式ですが、次回の開催日が決定いたしましたことからご報告いたします。</p> <p>函館市における成人の日行事（成人式）はこれまで「国民の祝日に関する法律」で定められた「成人の日」，1月の第2月曜日に開催してまいりましたが、次の成人式は、成人の日の前日の日曜日に開催いたします。</p> <p>開催日をこのように変更することにより、特に遠方から帰省して参加する方、平日に仕事を控えている方などにとっては、日程に余裕ができることでより成人式に参加しやすくなるものと考えています。</p> <p>以前の社会教育委員の会議において、みなさまのお考えをお伺いしました時には、成人の日の前日の日曜日の開催が良いのでは、というご意見でございました。その後、高校生に対してもアンケート調査など実施いたしまして、成人式を成人の日の前日の日曜日に開催することを決定したものでございます。</p> <p>是非とも新型コロナウイルス感染症が収束し、開催できればと願っております。</p> <p>以上でございます。</p>
委員長	<p>以上で、本日の会議を終了しますので、進行を事務局にお返しします。</p> <p>みなさま、お疲れ様でした。</p>
生涯学習文化課主査	<p>これを持ちまして、第2回函館市社会教育委員の会議を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>以上、令和2度（2020年度）第2回函館市社会教育委員の会議の会議録とする。</p> <p style="text-align: right;">委員長 池田 孝道</p>	

